

前期の実践報告

3年

H15.10.31

学年研修テーマ 「自分の課題をもち、進んで取り組む子」

(1) 前期の取り組み

A 「発見 みんなの町 大岡」

日時	活動内容	児童の様子
6・6	第1回校区探検 木瀬川・下石田東方面 (クラスで) 日吉・下石田西方面 (グループ)	グループで計画を立てて、安全に注意してしっかり探検できた。 子供たちの興味の方向が絞られた。 ・田畑の生き物やツバメ・犬などの動物 ・草や木・花などの植物 ・商店の様子 ・神社や寺など古いもの ・工場などの建物 ・大岡公園 ・浪人川
6月	課題づくり 課題や調べることなどグループで、確かめ合う。	第1回探検で決めた課題がそれでよいか確認したり、調べることを明確にしたりする。(授業公開)
10月	課題解決のための探検 ・日枝神社方面 ・浪人川方面 ・工場方面 ・耕雲寺方面 ・お店コース(カドイケなど) ・公園コース 課題について調べる 発表の準備	実際に絵に描いたり、インタビューしたりすることもできた。 工場で品物を見せてもらったり、話を聞いたりできて、有意義だった。 (旧片倉工業・三友工業) 全員が探検にいけないので、残った子供達は図書室で本などを使って調べ学習をしたり、まとめをしたりした。 事典やインターネットで調べる。 もう一度行ってよく見てくる。 市立図書館にいつてみる。 紙芝居・本・新聞・ガイドブック・パンフレット等の形で発表の準備をする。

(2) 成果と課題

校区探検など体験を通した学習で、子供たちは楽しんでとりかかれた。

校区探検を通して、子供たち一人一人が、自分なりの課題をもつことができた。どうしても課題を見つけられない子は教師がいくつか提示して、児童が選択するようにした。

課題づくりや調べ方について時間をかけて丹念に支援したので、意欲的に課題解決に取り組むことができた。

自分の思うとおりに調べ学習が進まない子も、友だちの様子を見たり、本で調べたりするうちに新たな方向を見つけて進み出すことができた。

コンピュータの学習に楽しんで取り組み、使い方が身に付いた。

夏休みに、家の人と一緒に調べたり、まとめたりした子もいた。

- ・浪人川の始まりと終わりを浪人川のそってしらべてみた。
- ・旧カタクラ工業を訪問して見せてもらった。

実際に調べ学習をした経験が少ないので、物珍しさから飛びついた課題の子は行きづまって、しまうことがあった。

天候の関係もあり、課題設定から解決までの時間があいてしまったので、準備等が十分でないまま、現地学習に行ってしまった子が見られる。

子供の課題がちがうので、現地学習に行くのに引率する教師がたりなくなってしまうので思うように進められない。

地域学習の場合、事前に教師が工場やお店の人と打合せをするのが大変なので、子供にとって取り組みやすい工場やお店を資料として保存していきたい。

初めての総合的な学習なので、調べ方の具体的な方法を提示しなければならぬと思う。

まとめたものの出来具合にこだわりすぎないように、やってよかった、分かった、楽しかったという気持ちを大切にしたい。

(3) 今後の活動

- | | |
|------|---------------|
| 1 1月 | 発表会の準備 |
| 1 2月 | 発表会 (パビリオン形式) |
| 3 学期 | 地域の名人に学ぼう |